

要員適正化支援

1 事業を維持・強化するために必要な適正な要員数算定

適正な要員数を算定するためには、多面的な分析・評価が必要です。
 算定方法には大きく「トップダウンアプローチ」と「ボトムアップアプローチ」2つの視点があります。

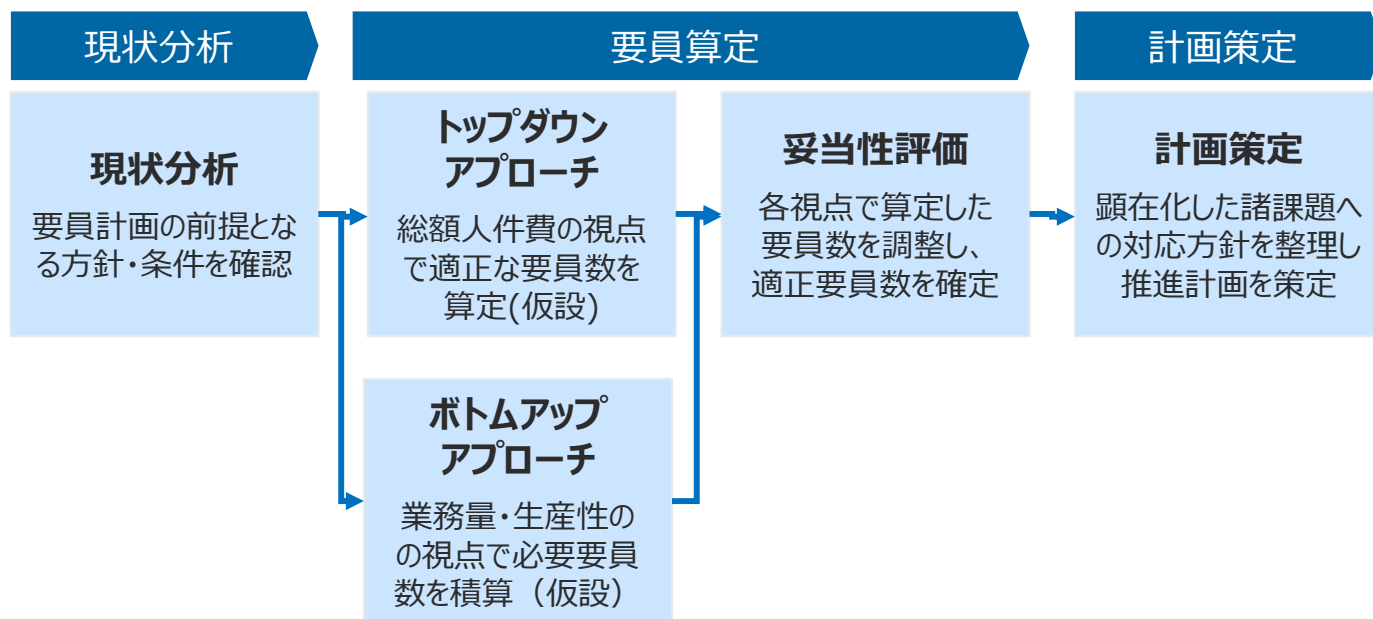
【トップダウン】 総額人件費の推移や同業他社の水準をベンチマークし要員数を算定

【ボトムアップ】 業務を遂行するために必要な要員数を積み上げで算定

これらの結果を受けて複数の視点で算定した結果を擦り合わせて適正値を導きます。

適正要員数に唯一の正解があるわけではありませんが、欠かせないのは算定過程で構築される適正要員数の考え方と管理・運用方法など一連の「仕組み」です。この「仕組み」を運用し人事管理の精度を上げていくことが重要です。

取り組みの背景や目的および検討状況によってアプローチは変わりますが、一般的な手順は次の通りです。



検討の過程では、量的な問題だけでなく、人材の質や組織・人事制度、業務、システムなど様々な問題が顕在化することがあります。

日本総研の各専門家により的確な問題提起と解決策を提案します。

要員適正化支援

2 日本総研の特徴

ボトムアップアプローチには業務を細かく分析して積み上げ方法から事業単位など業務を大ぐりで算定するなど様々な方法があります。日本総研では要員算定の仕組みづくりを強く意識し精度の高く運用負荷が負担になり過ぎない適切な算定ロジックを構築します。



調査・分析 適切な調査や分析をするための各種ツールを用意



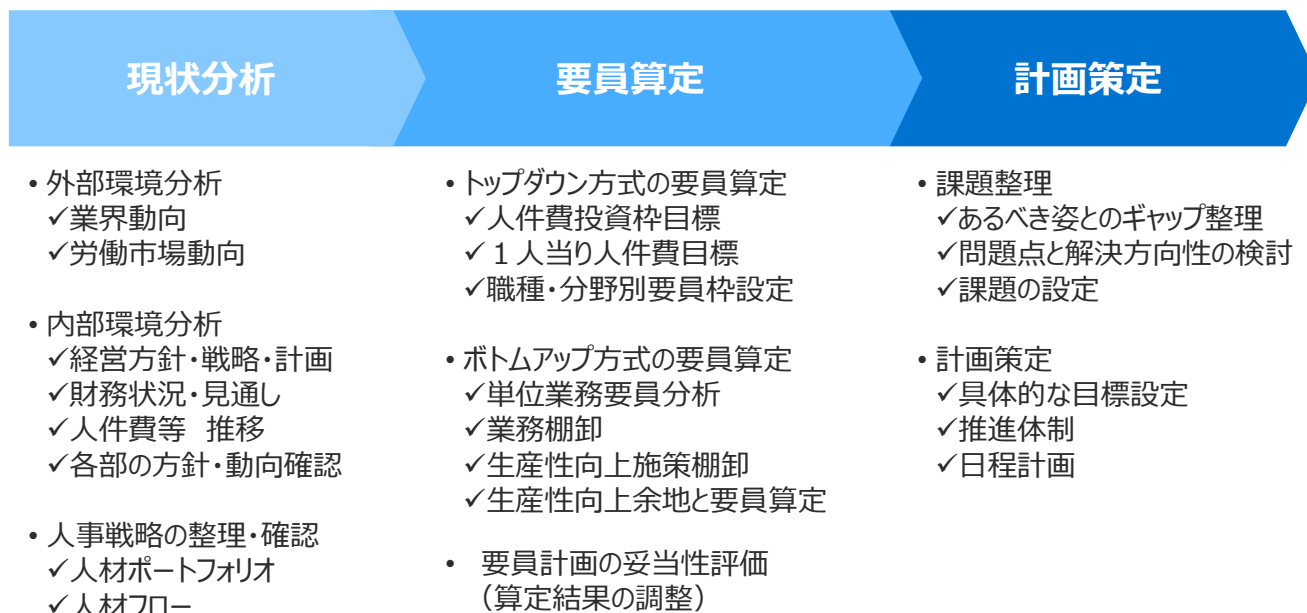
整理・提言 様々な問題に対して各専門家が多角的に分析・整理して提言



設計・計画 取り組みの有効性など定量分析に基づく具体的な設計・計画

3 推進手順（例）

取り組みの背景や目的および検討状況によってアプローチは変わりますが、一般的な手順は次の通りです。



株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門

E-mail: rcdweb@ml.jri.co.jp

本資料の著作権は株式会社日本総合研究所に帰属します。